

## 日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

(2016年8月〔往航〕速報値)

(公財) 日本海事センター 企画研究部

\* 文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

## I. 往航（アジア 18ヶ国・地域→米国）の荷動き

- (1) 2016年8月のアジア（18ヶ国・地域）から米国へのコンテナ荷動き量は、4ヶ月連続の増加となる4.5%増の146.3万TEUと過去最高を更新。1-8月の累計は前年同期比3.0%増の1,024.0万TEUと昨年実績を上回っている。
- (2) 国別では、日本（9.1%増）、中国（2.5%増）、韓国（2.5%増）、台湾（13.7%増）、ベトナム（13.2%増）、インド（11.2%増）と主要国は増加となり、中国、ベトナムは過去最高を更新。地域別では、ASEAN（12.2%増）、南アジア（8.0%増）ともに増加。
- (3) 日本は、1位（2015年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「自動車部品」（20.3%増）が3ヶ月連続の増加、4位の「建設機械」（53.1%増）が8ヶ月連続の増加、5位の「テレビ、ビデオ等の映像・音響製品」（19.8%増）が3ヶ月連続の増加となったことなどにより、2ヶ月ぶりの増加となる9.1%増の5.9万TEU。
- (4) 最大の出荷国である中国は、1位の「家具及び家財道具」（8.5%増）、5位の「床材・ブラインド等のプラスチック製品」（11.7%増）及び8位の「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」（12.7%増）が5ヶ月連続の増加、7位の「建築用具及び関連品」（2.9%増）が4ヶ月ぶりの増加となったことなどにより、3ヶ月連続の増加となる2.5%増の96.8万TEU。香港は6ヶ月連続の減少となる6.3%減の3.2万TEU。
- (5) 韓国は、2位の「一般電気機器」（1.6%増）が2ヶ月ぶりの増加、3位の「タイヤ及びチューブ」（30.8%増）が3ヶ月連続の増加、4位の「車両機器及び部品」（5.5%増）が5ヶ月ぶりの増加となったことなどにより、2ヶ月ぶりの増加となる2.5%増の6.6万TEU。
- (6) 台湾は、1位の「建築用具及び関連品」（11.5%増）が6ヶ月ぶりの増加、2位の「自動車部品」（9.1%増）が3ヶ月ぶりの増加、3位の「家具及び家財道具」（6.2%増）が2ヶ月連続の増加となったことなどにより、2ヶ月連続の増加となる13.7%増の5.9万TEU。
- (7) ASEANは、カンボジア（1.7%減）以外は増加となったことにより、全体では4ヶ月連続の増加となる12.2%増の20.6万TEU。ASEAN最大の出荷国であるベトナムは、1位の「家具及び家財道具」（6.8%増）が5ヶ月連続の増加、2位の「繊維及びその製品」（4.4%増）が2ヶ月連続の増加、3位の「履物及び附属品」（0.5%増）が4ヶ月連続の増加となったことなどにより、5ヶ月連続の増加となる13.2%増の8.5万TEU。
- (8) 南アジアは、スリランカ（4.1%減）以外は増加となったことにより、全体では2ヶ月ぶりの増加となる8.0%増の7.3万TEU。南アジア地域最大の出荷国であるインドは、1位の「繊維及びその製品」（20.0%増）が2ヶ月ぶりの増加、2位の「鋼材及びその製品」（8.0%増）が13ヶ月ぶりの増加、4位の「家具及び家財道具」（20.7%増）が3ヶ月ぶりの増加となったことなどにより、2ヶ月ぶりの増加となる11.2%増の5.2万TEU。
- (9) 品目別では、「家具及び家財道具」（寄与度0.8%増）、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」（同0.5%増）などの住宅関連品目が増加に寄与。
- (10) 船社別では、1位（2015年の年計ベースの船社別順位、以下同様）のEVERGREENが3ヶ月連続の増加となる16.3万TEU（6.7%増）、2位のMAERSKが2ヶ月ぶりの増加となる13.5万TEU（9.1%増）、3位のCMA-CGMが3ヶ月ぶりの減少となる9.5万TEU（9.3%減）。日本船社ではK LINEが3ヶ月連続の増加となる8.8万TEU（6.3%増）、NYKが6ヶ月ぶりの増加となる7.0万TEU（7.7%増）、MOLが2ヶ月ぶりの増加となる6.7万TEU

(4.2%増)。

表-1 2016年8月:積国・地域別荷動き

国・地域	往 航				
	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	シェア (%)	1-8月の 累計(TEU)	前年同期比 (%)
18ヶ国・地域 合計	1,463,428	4.5	100.0	10,239,521	3.0
日 本	59,001	9.1	4.0	431,118	4.1
韓 国	66,239	2.5	4.5	535,480	5.0
台 湾	59,304	13.7	4.1	421,762	1.7
中国+香港 計	1,000,035	2.2	68.3	6,796,494	1.7
中 国	967,845	2.5	66.1	6,592,213	2.2
香 港	32,189	▲6.3	2.2	204,281	▲11.0
マカオ	33	85.7	0.0	224	44.4
ASEAN 計	206,118	12.2	14.1	1,505,906	9.1
シンガポール	8,491	3.8	0.6	68,240	1.0
フィリピン	12,569	14.2	0.9	88,436	2.9
マレーシア	24,401	5.6	1.7	190,618	8.9
インドネシア	26,479	3.5	1.8	240,667	0.5
タ イ	43,450	22.7	3.0	296,440	13.4
ベトナム	85,120	13.2	5.8	587,785	13.5
カンボジア	5,002	▲1.7	0.3	31,001	▲2.0
ミャンマー	606	154.3	0.0	2,719	110.2
南アジア 計	72,697	8.0	5.0	548,536	1.1
スリランカ	3,935	▲4.1	0.3	28,139	▲4.2
バングラデシュ	8,361	3.4	0.6	65,758	2.6
パキスタン	8,118	0.1	0.6	64,355	▲2.9
インド	52,283	11.2	3.6	390,285	1.9

(注) 集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEANのうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの8ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの4ヶ国、合計18ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、後に若干の修正が加わる場合がある。

## II. 往航の品目別荷動き

- (1) 往航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している住宅関連3品目（「家具及び家財道具」、「建築用具及びその関連品」、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」）の合計荷動き量は、4ヶ月連続の増加となる7.9%増の28.1万TEU。品目別でみると、「家具及び家財道具」は4ヶ月連続の増加となる6.6%増の18.2万TEU。「建築用具及びその関連品」は6ヶ月ぶりの増加となる6.0%増の3.9万TEU、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」は2ヶ月連続の増加となる13.2%増の6.0万TEU。
- (2) 「繊維及びその製品」は6ヶ月連続の減少となる1.7%減の18.1万TEU。
- (3) 「一般電気機器」は6ヶ月連続の減少となる0.6%減の9.6万TEU、「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」は4ヶ月連続の増加となる12.6%増の4.2万TEU。
- (4) 「自動車部品」は2ヶ月ぶりの増加となる3.9%増の5.5万TEU、「タイヤ及びチューブ」も2ヶ月ぶりの増加となる7.7%増の4.2万TEUと自動車関連品目は増加に転じた。

表-2 往航:2016年8月の品目別荷動き(上位10品目)

品目名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	シェア (%)
1. 家具及び家財道具	181,927	6.6	0.8	12.4
2. 繊維及びその製品	181,442	▲1.7	▲0.2	12.4
3. 一般電気機器	95,556	▲0.6	0.0	6.5
4. おもちゃ	62,919	▲3.8	▲0.2	4.3
5. 床材・ブラインド等のプラスチック製品	60,011	13.2	0.5	4.1
6. 自動車部品	54,531	3.9	0.1	3.7
7. 履物及び附属品	46,550	▲13.9	▲0.5	3.2
8. テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	42,196	12.6	0.3	2.9
9. タイヤ及びチューブ	41,502	7.7	0.2	2.8
10. 建築用具及び関連品	39,481	6.0	0.2	2.7

### Ⅲ. コンテナ運賃の動向

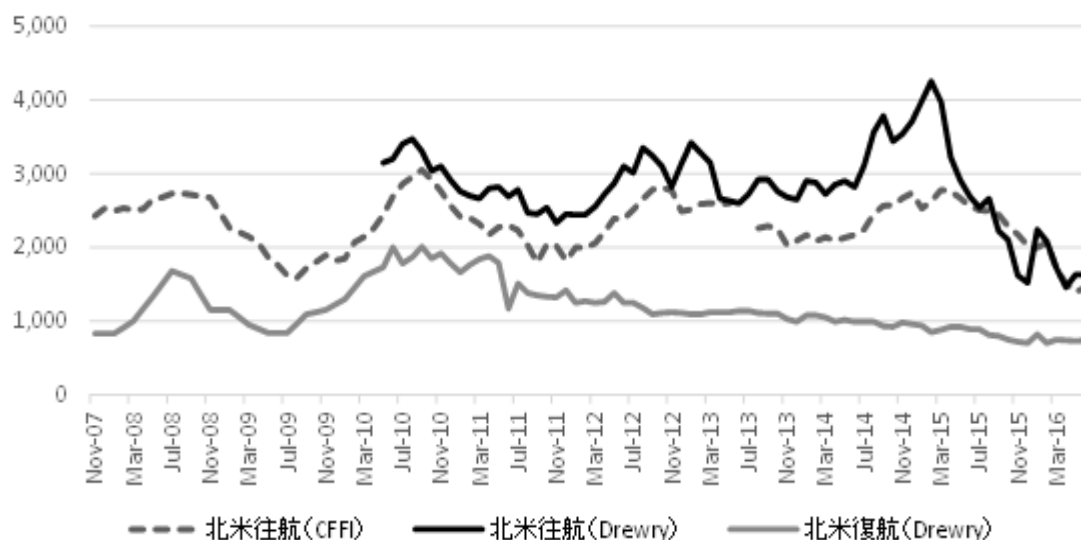
(1) 北米往航：

2016年6月の中国（塩田）－ニューヨーク間の運賃は横這いの1630ドル/TEU。

(2) 北米復航：

ニューヨーク－中国（塩田）間の運賃は2月以降750ドル/TEU前後で推移。

図－1 北米航路における運賃指数の推移（単位：ドル/TEU）



表－3 船社別輸送量シェア(%)

順位	往航船社名	2013年	2014年	2015年	2016年1－8月	最近の推移
1	EVERGREEN	9.66	10.23	10.42	10.44	3ヶ月連続の増加
2	MAERSK	10.50	10.03	8.79	9.24	2ヶ月ぶりの増加
3	CMA-CGM	6.60	6.41	7.73	7.59	3ヶ月ぶりの減少
4	HANJIN	8.12	7.62	7.37	7.06	2ヶ月ぶりの増加
5	MSC	6.28	6.53	6.74	7.38	5ヶ月連続の増加
6	COSCO(N)	6.75	6.58	6.64	7.64	4ヶ月連続の増加
7	APL/NOL	7.55	7.00	5.79	5.83	2ヶ月連続の増加
8	K LINE	5.56	5.57	5.77	5.86	3ヶ月連続の増加
9	YANG MING	4.97	5.01	5.21	5.05	2ヶ月ぶりの減少
10	OOCL	4.46	4.72	4.72	5.11	5ヶ月連続の増加
11	NYK	4.25	4.57	4.61	4.53	6ヶ月ぶりの増加
12	CHINA SHIPPING	4.89	4.38	4.57	2.57	6ヶ月連続の減少
13	MOL	4.52	4.59	4.50	4.40	2ヶ月ぶりの増加
14	HYUNDAI	5.76	5.23	4.50	4.24	6ヶ月ぶりの増加
15	HAPAG-LLOYD	3.82	4.42	4.12	4.35	5ヶ月連続の増加
	OTHERS	6.30	7.12	8.51	8.72	5ヶ月連続の増加
	TOTAL	100.00	100.00	100.00	100.00	

(注)：単位は%。順位は2015年を基準とした。

表-4 米国内地域別(西岸/東岸/ガルフ)荷動きの構成比の推移

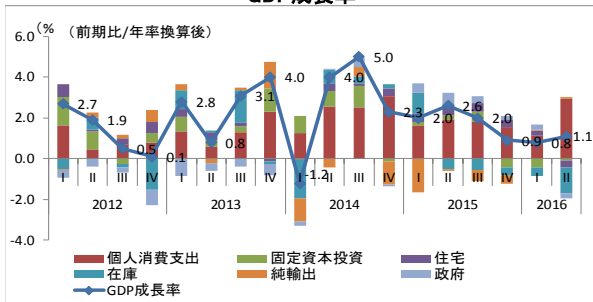
米国内地域 集計年(月)	往 航			復 航		
	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2012年	69.9	28.0	2.1	65.3	32.0	2.7
2013年	69.6	28.3	2.1	64.8	32.4	2.8
2014年	68.4	29.3	2.3	62.7	34.0	3.3
2015年1月	60.1	36.2	3.7	53.0	42.0	5.0
2月	60.8	35.9	3.3	58.5	37.1	4.3
3月	65.6	32.0	2.5	56.9	38.6	4.5
4月	65.2	31.5	3.3	58.3	37.6	4.1
5月	65.1	31.9	3.0	60.1	35.5	4.5
6月	64.8	32.8	2.4	58.0	38.6	3.4
7月	64.0	33.3	2.7	60.9	35.3	3.8
8月	67.1	30.5	2.4	63.1	33.7	3.3
9月	64.9	32.5	2.7	57.9	38.1	4.0
10月	64.3	33.3	2.4	60.6	36.1	3.4
11月	66.8	30.8	2.3	59.0	37.5	3.5
12月	64.7	32.1	3.2	59.3	36.2	4.5
2016年1月	65.8	31.4	2.7	56.9	38.9	4.2
2月	64.1	33.0	2.9	59.8	35.9	4.3
3月	60.9	36.2	2.9	60.3	35.4	4.4
4月	65.6	31.5	2.9	60.7	35.4	4.0
5月	65.8	31.6	2.6	58.7	37.3	4.0
6月	64.9	31.9	3.2	58.9	36.6	4.5
7月	64.0	32.6	3.4			
8月	63.8	32.9	3.3			

## (参考) 荷動きに関連する米国の経済指標・動向

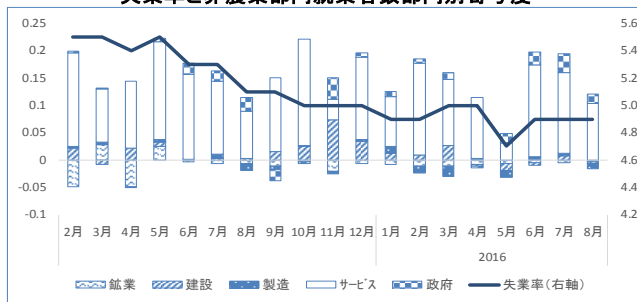
### 2016年9月作成 米国経済:回復基調を維持するも不安材料有り

- ◆2016年第2四半期GDP(改定値)は前期比1.1%増に下方修正された。個人消費および民間投資(住宅除く)は、プラスの修正。住宅投資は10期ぶりのマイナスとなった。
- ◆8月の失業率は4.9%で3か月連続の横ばい。非農業部門全体では15.1万人雇用増。鉱業は15か月連続の減少。
- ◆2014年12月以降、鉱工業生産指数及び設備稼働率は下降基調が続いていたが、2016年に入り僅かに回復の兆しが見られる。
- ◆ガソリンおよび先行指標であるWTI価格は2014年8月以降急落していたが、2016年3月を底に上昇基調に転じている。
- ◆2016年7月の住宅着工件数は2か月連続のプラス。許可件数は4か月ぶりにマイナスに。新築住宅販売は5か月連続のプラス、中古住宅販売は5か月ぶりのマイナスに。
- ◆7月の小売売上高は横這いとなった。自動車販売は2か月連続のプラスに。
- ◆2014年10月28日から10月29日に開催された連邦公開市場委員会(FOMC)の定例会で量的緩和(QE3)修了決定。15年12月15-16日の会合でゼロ金利解除決定。1~5月は金利据置。次回FOMC定例会は9月20-21日。

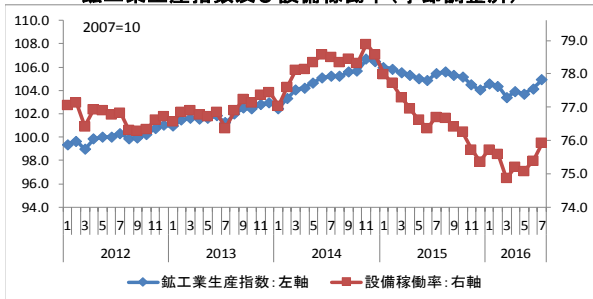
#### GDP成長率



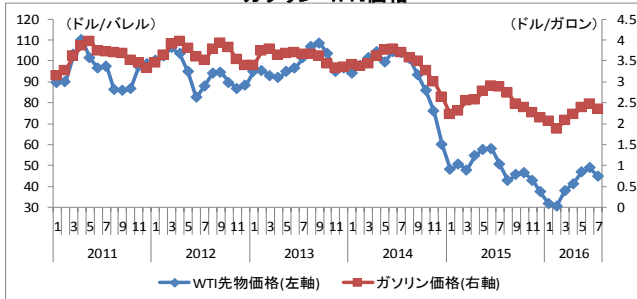
#### 失業率と非農業部門就業者数部門別寄与度



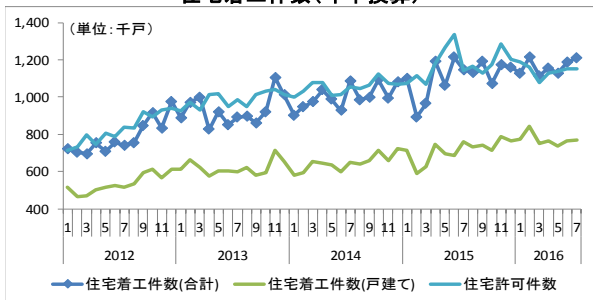
#### 鉱工業生産指数及び設備稼働率(季節調整済)



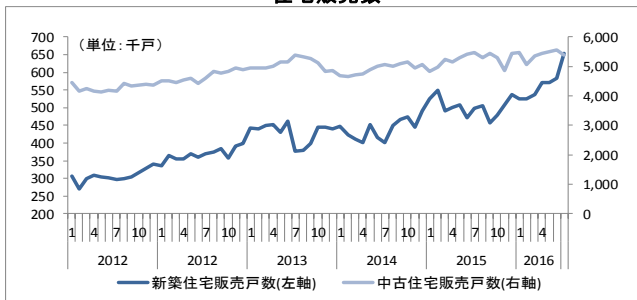
#### ガソリン・WTI価格



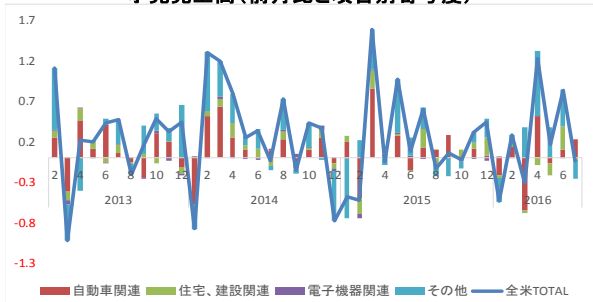
#### 住宅着工件数(年率換算)



#### 住宅販売数



#### 小売売上高(前月比と項目別寄与度)



#### 自動車販売台数

